

2025 年 10 月 29 日

Partisia Applications ApS

Partisia, TOPPANエッジと包括パートナーシップ契約を締結

- プライバシーファーストのサービスの共同開発を目指す -

秘密計算技術のパイオニアであり、プライバシー保護技術（PETs）における世界的リーダーである Partisia Applications ApS（本社：デンマーク・オーフス、CEO：Kurt Nielsen、以下「Partisia」）は、2025 年 10 月 29 日、TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN エッジ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：齊藤 昌典、以下「TOPPAN エッジ」）と、プライバシー強化技術（PETs）を核としたセキュア DX 及び IoT/自動認識市場における新たな価値創出を目的に、包括パートナーシップ契約を締結したことをお知らせします。

本パートナーシップにより、両社が培ってきた知見・ノウハウとテクノロジーを掛け合わせ、日本市場にとどまらず、Partisia が強力な顧客・事業基盤をもつ欧州、さらには海外他成長市場を対象に、「ひと・モノ」の「プライバシーファースト」をコンセプトとするサービスの共同開発を行う予定です。

■■ パートナーシップの背景 ■■

近年、デジタル化の進展に伴い、本人確認やデータの真正性の重要度が増す一方で、個人情報保護法や GDPR などによる規制強化が進み、中央集権的な ID 管理モデルの限界が明らかになっています。欧州では eIDAS 2.0 や EUDI ウォレットの整備が進み、米国やアジア各国でも公的サービスや民間認証の導入が加速しており、デジタル社会における「信頼」と「プライバシー」を両立する新たなアイデンティティ基盤の構築が急務となっています。

またこれらの個人情報管理に加え、行政・金融・医療・製造などの様々な分野において、個人情報を含めた機密データに対する AI やビッグデータを用いた分析・最適化の必要性が高まる中で、プライバシー侵害や情報漏洩などの懸念が拡大しています。これを受け、単なる「守る」セキュリティから「データ保護と利活用の両立」が可能な技術への転換が求められ、セキュアな本人認証とデータ保護を組み合わせることで、企業グループ、サプライチェーン、異業種間や国境を超えたデータ連携を安全に実現する仕組みが、社会信頼を基にしたデータ駆動型社会の鍵となっています。

こうした背景を踏まえ、Partisia と TOPPAN エッジ は、Partisia のもつ最先端のセキュリティ技術と、TOPPAN エッジのもつ多様な業種・業態の顧客基盤及び高い業務理解によるソリュ

ーション提供のノウハウと知見とを掛け合わせ、「ひと・モノ」を中心に据えたデータ駆動型セキュア DX サービスプラットフォームを共同開発する運びとなりました。

■■ 本パートナーシップの概要と今後について ■■

Partisia と TOPPAN エッジは、さる 2025 年 5 月に TOPPAN エッジの顔写真収集・認証クラウドサービス「CloakOne® (クロークワン)」と Partisia の分散型 ID と分散型秘密計算 (MPC) の技術を組み合わせた EU におけるデジタル ID の検証規格「eIDAS2.0」の基準を満たすデジタル学生証の共同開発を発表しています。この共同ソリューションは現在、日本政府が設立した先駆的な大学院大学である沖縄科学技術大学院大学 (OIST) にて実証実験を進めており、その結果を踏まえ 2026 年 4 月入学期からの市場への導入を進めています。今回の包括パートナーシップは、この内容を戦略的に拡張・強化する内容となります。

1. プライバシーファーストな「ひと」の認証を核としたビジネスモデルの拡大
世界最高水準の「Biometric Holder Binding：生体認証連携型デジタル証明」の機能を持つ TOPPAN エッジの「CloakOne®」をコア・プラットフォームと位置付け、これに Partisia の持つ最先端セキュリティ技術の強化と、TOPPAN エッジによる業種・業態に応じた UI/UX の実装と外部システムとの連携も含めたデータフロー設計により、デジタル学生証やデジタル社員証に留まらず、本人性の保証と不正利用防止などを目的としたさまざまな領域へと展開してまいります。現在、災害支援、医療支援、エンターテインメント、各種決済などの分野を含めた新たなサービス展開の検討を進めています。
2. 安心・安全な「モノ」の認証と、次世代型データセキュリティ技術による ID マネジメントプラットフォームの構築
Partisia の持つ分散型 ID 技術と、分散型秘密計算 (MPC) とブロックチェーン技術を核とする次世代型データセキュリティ技術に、TOPPAN エッジの持つ高度な AI/IoT 技術と関連するソリューションとを組み合わせ、顧客が自らの様々な領域で行う「モノ」の様々な動きを経営資源として捉えたデータ駆動型経営実現のためのソリューションを実現していきます。現在、製造、物流、医療・医薬、偽造・模倣品対策などの分野を含めた新たなサービス展開の検討を進めています。
3. 日本国内及び海外における共同セールス・マーケティング活動
TOPPAN エッジが強力な顧客基盤を持つ日本国内及びアジア地域と、Partisia が事業基盤を持つ欧州地域において、共同で営業及びマーケティング活動を推進し、それぞれの地域における両社の事業拡大だけでなく、国/地域を横断した新しいサービス展開を進めてまいります。

<Partisia CEO Kurt Nielsen のコメント>

Partisia はこのたびの TOPPAN エッジとのパートナーシップ締結を心より歓迎申し上げます。デジタル社会では複雑化するバリューチェーンへの対応、と業務効率化をいかにプライバシーファーストに実現できるが喫緊の課題となっています。TOPPAN エッジの豊富な業界知見と弊社の最先端のセキュリティ技術を組み合わせることで、これらの課題解決を加速できるものと確信しております。本パートナーシップによりを契機に、さまざまな組織の持続的なデジタル変革に寄与し、国内外企業の競争力強化に貢献してまいります。

<TOPPAN エッジ株式会社 ID ビジネス統括本部 統括本部長 岡 正俊氏のコメント>

このたび、Partisia 社とパートナーシップ契約を締結できたことを、心より嬉しく思います。当社のユーザ起点でのサービス設計・開発力、幅広い業務理解力と、Partisia のもつ先進的セキュリティ技術を組み合わせることにより、さまざまな業種・業態の幅広いお客様の包括的かつセキュアな DX 推進に、より一層貢献していけると確信しています。本パートナーシップを通じて、企業と社会の持続的成長に一層寄与してまいります。

■■ Partisia について <https://www.partisia.com/ja/> ■■

Partisia は、プライバシー保護とデータ活用の両立を実現するデジタルトラスト基盤を提供するテクノロジー企業です。当社は、分散型秘密計算（MPC: Multi-Party Computation）技術を核とし、複数の組織がそれぞれの機密データを開示することなく、安全かつ正確に共同分析を行うことを可能にします。これにより、企業は厳格なコンプライアンス要件やデータサイロの制約を超えたデータ連携を実現し、信頼性の高い意思決定や新たな価値創出を推進することができます。Partisia のソリューションは、金融・医療・製造など高い機密性が求められる分野において、セキュリティと透明性を両立したデータ利活用環境を提供します。これにより、企業間・業界間をまたぐデータ協働や AI 分析を、安全かつ持続的に支援します。

■■ TOPPAN エッジについて <https://www.edge.toppan.com/> ■■

TOPPAN エッジは、DX を支援する高度なソリューションやペイメントサービス、デジタルとオペレーションを融合した「Hybrid-BPO®」など、エッジの効いた最尖端のアプローチで企業や社会の課題を解決していくことを使命にしています。ビジョン「ビジネスに変革を、社会につながりを。」の実現に向け、お客さまのビジネスプロセス変革をリードし、より安心で快適なコミュニケーションを社会に創り出していきます。

本リリースに関するお問い合わせ先：info-jp@partisia.com